行政評価シート（事務事業評価）

評価年度	28年度

事業名	広聴広報事業	担当課	企画財政課
細分化した事業名			

1 計画（PLAN）：事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	人が集う交流のあるまちづくり
	政策	市民と行政の協働によるまちづくり
	施策	開かれた行政の推進
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画（PLAN）：事務事業の概要

事業の目的	市政情報の紹介、発信、周知
事業の手段	・広報にらさきの発行 ・市ホームページの運営～インターネット閲覧者への情報発信 ・くらしのガイド～市政情報の紹介冊子を、転入者に配布 ・有線放送（声の広報）～有線加入者に対し、毎日（朝・夕）の放送時に市からの行政情報等を提供 ・まちづくり活動情報によるメディアへの情報提供～ＴＶ、新聞の取材～情報の発信 ・ＦＭラジオ（82.2MHz）による情報発信～ラジオの視聴者に対し、市からの行政情報等を提供 ・ＳＮＳ（facebook・twitter）による情報発信～ＳＮＳ利用者に対し、市からの行政情報等を提供
事業の対象	市民全般

3 実施（DO）：投入費用及び従事職員の推移（インプット＝費用＋作業）

		25 年度	26 年度	27 年度
A 事業費	（千円）	12,467	16,043	16,084
財源内訳	国・県支出金			
	その他（使用料・借入金ほか）			
	一般財源	12,467	16,043	16,084
B 担当職員数（職員 E）	（人）	1.21	1.16	1.16
C 人件費(平均人件費×E)	（千円）	7,854	7,881	7,789
D 総事業費(A+C)	（千円）	20,321	23,924	23,873

主な事業費用の説明	印刷製本費 9,667 千円　声の広報委託事業費 648 千円　広報用パソコン借上用 108 千円 ＦＭラジオによる市広報番組制作・放送業務委託事業費 5,661 千円

注）平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 25 年度（6,491 円）,26 年度（6,794 千円）,27 年度（6,715 千円）を使用しています。

4 実施（DO）：事業を数字で分析（アウトプット＝事業量）

		指標名	指標の算出方法	実績値 25 年度	実績値 26 年度	実績値 27 年度
活動指標	1	広報にらさき発行	発行部数（配布部数） ※配布部数は年度末の数字を使用	11,400 （10,344）	11,400 （10,269）	11,400 （10,231）
	2	まちづくり活動情報	提供件数（件）	34	38	35
	3	くらしのガイド発行	配布部数	679	715	753

妥当性		□ A 妥当である　■ B ほぼ妥当である　□ C 妥当でない
上記活動指標と妥当性の説明	1	毎月 1 回の発行は、市民も慣れ親しんでおり、妥当である。
	2	各所属に積極的な情報提供を呼びかけたことから、提供件数は増加傾向にある。
	3	H24 年に既存の世帯に各戸配布したことから、H25 年以降は、転入者に配布している。

5 評価（CHECK）：事務事業評価（アウトカム＝成果・効果）

		指標名	指標の算出方法	実績値		
				25 年度	26 年度	27 年度
成果指標もしくはまちづくり指標	1	広報誌の配布率	配布済世帯数／全世帯（%）	83.4	82.8	82.0
	2	HP アクセス件数	ページビュー（件）	802,879	986,398	1,073,429
	3					

成果		□ A 上がっている　■ B ほぼ上がっている　□ C 上がっていない
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	市内世帯数の減少や、自治会非加入世帯の増加により配布率は下がりつつあるが、市民交流センターやライフガーデン等商業施設や公共施設にラックを設置してカバーしている。
	2	HP の閲覧数は毎年増加している。SNS や広報を活用して HP 閲覧への誘引に努めている。
	3	

事務事業総合評価	□ A 期待以上に達成　■ B 期待どおりに達成　□ C 期待以下の達成

6 改善（ACTION）：今後の事務事業の展開

今後の事業展開	□ 拡大（コストを集中的に投入する） □ 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） □ 廃止（廃止の検討が必要） ■ 一部改善（事務的な改善を実施する） □ 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する）
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか） 28 年度の改善計画（今後の事業展開説明） 現在、SNS（facebook・twitter）を情報発信ツールとして利用しているが、情報の内容のほとんどがイベント情報なので、制度の内容や変更といった行政に係わる情報も発信するようにする。 また、HP に観光等の動画を掲載することで、よりわかりやすい情報を提供するほか、FM 八ヶ岳と連携し、観光行政情報はもとより災害情報等の発信も積極的に行う。
過去の改善経過	市政レポート（市長所信表明）・市勢ダイジェストの製本廃止 H11　市ホームページの開設　H13　各種情報ページの追加　H18　市ホームページリニューアル H20　電算サーバーの入れ替えを機に、業者委託による市ホームページの再リニューアル H24　㈱ゼンリンへのデータ提供による市民ガイドブックの発行、広報誌への健康カレンダーの折込開始 H25　市ホームページのリニューアル H26 年 5 月　facebook の運用開始　H26 年 10 月　FM 八ヶ岳（82.2MHz）によるラジオ放送開始 H28 年 3 月　市民ガイドブック（第 2 版）の発行
課長所見	時代と共に情報発信手段も見直しが必要である。未だ情報提供手段は紙ベースが中心であるが、SNS への移行も急速に進んでいる。大切なことは市民誰もが情報を共有できることを基本にしたい。